

# アフターMICE ~ 学習プランのご紹介

## 史跡咸宜園跡、咸宜園教育研究センター

咸宜園跡(国史跡)は、江戸時代に日田の儒学者、廣瀬淡窓先生が開いた日本最大規模の私塾です。徹底した実力主義と学力を客観的に評価した月旦評、塾生に自治を任せ社会性を身につけさせるなどの独自の教育方法が評判となり、全国から約5,000人を超える塾生が集まりました。

平成27年4月には、「近世日本の教育遺産群－学ぶ心・礼節の本源－」として「日本遺産」の第1号に認定されました。

| 施設概要(咸宜園教育研究センター)          |              |    |                     |
|----------------------------|--------------|----|---------------------|
| 〒877-0012 大分県日田市淡窓2丁目2番18号 |              |    |                     |
| TEL                        | 0973-22-0268 | 料金 | 無料                  |
| 開                          | 9:00 ~ 17:00 | 休  | 水曜日(祝日の場合は、翌日)、年末年始 |



## バイオマス資源化センター

バイオマス資源化センターは、生ごみや豚糞尿、焼酎かす等の廃棄物を資源として活用し、メタン発酵により発生するメタンガスを利用したバイオガス発電をはじめ、消化液を利用した液肥・堆肥などの肥料を生産する施設です。

| 施設概要                      |              |    |                 |
|---------------------------|--------------|----|-----------------|
| 〒877-1232 大分県日田市清水町1906番地 |              |    |                 |
| TEL                       | 0973-25-5811 | 料金 | 1名あたり1,000円     |
| 開                         | 9:30 ~ 16:30 | 休  | 土曜日・日曜日・祝日、年末年始 |



## 日田市博物館(日田市複合文化施設「アオーゼ」内)

平成28年8月にリニューアルされた日田市博物館は、「地球と生物の誕生・日田の大地のなりたちゾーン」や「水辺の生きものゾーン」などの4つのゾーンに分かれ、一部展示物については実際に触れてみることができます。

| 施設概要                                 |              |    |                    |
|--------------------------------------|--------------|----|--------------------|
| 〒877-0003 大分県日田市上城内町2番6号(日田市複合文化施設内) |              |    |                    |
| TEL                                  | 0973-22-5394 | 料金 | 無料                 |
| 開                                    | 9:00 ~ 17:00 | 休  | 月曜日(祝日の場合、翌日)、年末年始 |



## 産業観光 施設見学

市の面積の8割を山が占めている日田市では、古くから林業が盛んです。

市内には、林業の担い手を育てながら森を守る森林組合、林業で多くの雇用を創出している製材所などのほか、すぐれた品質の日田杉を用いた下駄造りが江戸時代から受け継がれ、今では木造のインテリア製品を手掛ける様々な企業が、日田の産業を支えています。

日田市では、これらの企業の現場で話を聞いたり、自分の手で作って体験できる「産業観光」のプログラムを推進しています。

日田の山と水と木、そして技にのんびりとひたる「ひとりずむ」の旅をぜひご利用ください。

お問い合わせは  
日田市商工観光部観光課まで。

※連絡先は裏表紙をご参照ください。



産業観光  
公式ホームページ  
「ひとりずむ」



# アフターMICE ~日田市の観光、イベント、グルメ情報

## 観光施設

### 豆田町

今でも江戸時代の古地図を持って歩けるといわれるほど、当時の町割りがそのまま残っています。近世後期の町人・商人町の面影を色濃く残す貴重な地区として、平成16年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。



### 日田祇園山鉾会館

平成28年にユネスコ無形文化遺産にも登録された「日田祇園の曳山行事」で巡行する山鉾やその見送り幕などが常設展示されています。

(定休日：水曜日)



### 小鹿田焼の里

江戸時代中期に開窯した日田の民陶「小鹿田焼」は、機械を一切使わず全ての工程を手作業で行っており、これらの技と心を約300年もの間、一子相伝で継承し続けています。飛び鉢や刷毛目、櫛書きなどの技法を使った、時代に染まらない素朴な風合いが特徴です。



## イベント情報

### 天領日田おひなまつり

2月15日から3月31日にかけて、絢爛豪華なひな人形やひな道具が、当時の面影を色濃く残す市内各所で一斉に公開されます。

### 日田川開き観光祭

5月20日の鮎漁解禁に合わせ、20日過ぎの土・日に開かれ本市最大のお祭りです。両日夜に行われる花火大会は、打上げ現場と観客席が非常に近く、迫力満点です。

### 日田祇園祭、日田祇園山鉾集団顔見世

「日田祇園祭」は7月20日過ぎの土・日に、疫病や風水害を払うと共に安泰を祈願し開催される、約300年の伝統を誇る祭りです。平成28年にはユネスコ無形文化遺産にも登録されました。また祭前の平日に開催される「日田祇園山鉾集団顔見世」は絢爛豪華な9基の山鉾が日田駅前に一堂に会します。

### 日田天領まつり、千年あかり

「日田天領まつり」は、11月第2の土・日に開催される、江戸時代に幕府の直轄地「天領」として栄えた当時の風景を再現する、本市の秋を代表する祭りです。前日の金曜日夜からは3万本の竹灯籠が河川敷や町並みをやさしく照らす「千年あかり」が幽玄の世界に誘います。

## 日田市の郷土料理、ご当地グルメ

### 日田やきそば

茹でた麺の表面を焦げ目がつくまでパリっと焼き、大量のもやしと合わせて焼くことで麺のパリパリ、もやしのシャキシャキ感が特徴の、日田市を代表するご当地グルメです。



### ひたん寿し

日田近郊で採れた旬の野菜や果物を使い、創意工夫が凝られた日田ならではのお寿司です。



### 鮎、鰻料理

香魚とも呼ばれる鮎は、定番の塩焼きはもちろん、刺身として骨ごと食べる「背越し」や甘辛く煮つけた「甘露煮」など、様々な食べ方でお楽しみいただけます。また鰻もかば焼き、せいろ蒸しといった食べ方のほか、さっと湯通しして味わう湯引きもぜひご賞味ください。



### 日田の地酒

地下水系を含め、良質な水資源に恵まれた日田では昔から醸造業が発展し、江戸期創業の酒蔵をはじめ、市内各所に酒造メーカーが進出しています。資料館や工場見学等と合わせてお楽しみください。